

石垣島 トライアスロン大会

持続可能なトライアスロン大会

主催：石垣島トライアスロン大会

<https://ishigaki-triathlon.jp/>

東京から約2,000km。世界有数の南国リゾートで行われる『石垣島トライアスロン大会』は、2021年4月11日に開催しました。毎年開催される本大会は30年以上の歴史があり、トライアスロンを通じ、参加選手と地域の交流を目的として、島の魅力を発信し続けています。トライアスロン競技の中でもスタンダードな「オリンピック・ディスタンス大会」となっており、ビギナー・女性・障がいをお持ちの選手も安心して参加できる環境を整えています。

本年は、コロナ禍での開催となり、開会式や表彰・石垣大会発祥のリレー部門の開催は中止となりましたが、ICTを活用した情報発信や安全対策を講じ、全国から参加する選手の受け入れに成功。新たな生活様式に合わせた『ワーケーションエントリー』も導入し、ホテルでのリモートワーク・休日の観光・地元アスリートとの合同練習会を実施。更に、大会を共に盛り上げるパートナーを募集し、アンバサダーとして認定し、参加選手や島の事業者と共に地域貢献活動や島の魅力発信に取り組んでいます。本大会はスポーツ大会として初の『おきなわSDGsパートナー』認定を受けており、どのような環境でも選手と地域を結び、いつの世までも持続可能な未来に繋がる大会を目指します。



電話：0980-87-0085

メール：info@ishigaki-triathlon.jp

担当者：島 奈津子

地域企業と個人がつながり支える 障がい者スポーツ

障がい者スポーツ、共生社会

主催：CHAX障がい者アスリートチーム後援会

<https://www.chax-athlete.com/>

トレーニングに打ち込む障がい者アスリートの姿に感銘を受けた経済人の「共生社会の一角がここにある。障がい者スポーツを地域に広め、障がい者のある若者たちが希望をもって頑張れるように、地域で応援しよう!」との声が発端となって発足した「CHAX 障がい者アスリートチーム後援会」。

2018年6月に発足した当会は、パラリンピックの出場に向けて活動しているCHAX障がい者アスリートチーム(選手12名、スタッフ9名)を応援するため、鳥取県西部地区の地元企業86社と個人88名で構成されている。主な活動内容は、道具の購入費用や大会遠征費の経済的支援をはじめ、スポーツを通じて障がいのある人と障がいがない人が交流することで地域の共生社会に向けての活動も展開している。そして、当会が応援するCHAX障がい者アスリートチームには、東京2020パラリンピックに出場する選手もあり、チームメンバーも年々増加している。

障がい者スポーツ選手がスポーツをする上での支援を受ける中で、東京2020オリンピック・パラリンピック終了に伴って契約を解約される選手は少なくない。当会は、大会が終わった後も支援を続けることで東京2020パラリンピックのレガシーとなり、これからもチームと当会が一丸となって活動を継続していく。



電話：0859-32-9001 メール：tomo140tomo@gmail.com

担当者：石丸 知

FOOTSTEP FUND

～あしあと基金～

supported by ASTARI

ウォーキングという運動を通して、楽しみながら「健康増進」+「社会貢献」を目的として実施する活動です。
参加者の10歩を1円に換算し、障がい者スポーツの支援を行っています。
あなたの1歩が誰かの1歩になり、これまでに積み上げたあしあとは31,764,827歩にのびります。

**主催：(株)北海道日本ハムファイターズ
(株)ファイターズスポーツ&エンターテイメント**

<https://www.fighters.co.jp/expansion/walking/>

本活動は、北海道日本ハムファイターズとそのファンの皆様と一緒にウォーキングを行い、参加者の10歩を1円として寄付する活動で、これまで29,132,781歩のあしあとを残し、積み上げた2,913,278円で競技用車椅子10台を道内のパラスポーツ団体等に寄贈してきました。

ウォーキングによる参加者自身の健康増進、また、寄付を通して、障がいスポーツの推進を両立しています。球団OBで現在は球団のスポーツ・コミュニティ・オフィサー(SCO)を務める稲葉篤紀やマスコットのB☆B、森本稀哲、岩本勉などファイターズOBをゲストとして招き、プロ野球の公式戦の試合前に札幌ドーム周辺を歩く活動として2015年にスタート。2019年からは、カーリングのロコソラーレ北見、B.LEAGUEのレバンガ北海道、スノーボードの竹内智香さんら、北海道のアスリートをゲストとして招き、競技の枠を超えた活動へと広がっていきました。

2020年以降は新型コロナウイルス感染の影響を受けながらも、回数や人数の制限をかけたり、北海道内の既存のウォーキングイベントとコラボレーションしたりと、新しい形にも挑戦しています。



電話：0570-005-586 メール：info@fighters.co.jp
担当者：笹村 寛之

オンラインサロン(双方向型通信制道場) 「剣道イノベーション研究所」

85年の歴史を持つ剣道場、尚道館館長・岡田守正氏(教士八段)を主宰に迎え、三代に渡り引き継がれてきた剣の極意を、最新のデジタル技術を活用し効果的に通じ学びます。

主催：アデリープランニング株式会社

<https://www.kendoinnovationlabo.com/>

■世界初のオンラインによる双方向型の剣道道場です。剣道最高位の八段を有し、創設85年の歴史を持つ道場「尚道館」の三代目館長、岡田守正氏(教士八段)を主宰者に迎え、歴代引き継がれた剣の技術、理論を、SNSによる双方向通信と、コンテンツ配信により教示し、質の高い剣道学習を実現しています。

■コロナ禍に対応した非対面型での剣道ツールです。剣道は、「事理一致」の重要性が説かれるように、身体の鍛錬と共に理合の修得が重要であり、昨今のコロナ禍で実践稽古が制限される中、オンラインを通じリモートで理論修得を積むことは上達に向けて非常に有効です。各受講生の成長は会員の自撮り動画を通じ明確に確認できています。

■経験豊富な指導者による海外展開 海外において日本文化の人気の高まる中、剣道への関心も高まっており、国際剣道連盟には50カ国が加盟し活動しています。ただ、指導者に恵まれている国は少なく、本格的な指導を受けられない愛好家が多くいます。オンラインでの指導はそういった国々の愛好家でも参加可能で、剣道の国際普及の観点でも大きな機会創出となり得ます。主宰の岡田氏は海外指導の経験は豊富であり、既に多くの外国人会員が参加し、オンラインを通じて学んでいます。



電話：090-3817-2327

メール：kendoinnovationlabo@gmail.com

担当者：大友 洋一

ICTを活用した健康サポートシステムで従業員の健康を支援

**主催：田辺三菱製薬株式会社
田辺三菱製薬健康保険組合**

<https://www.mt-pharma.co.jp/> <http://www.mtpc-kenpo.or.jp/>

田辺三菱製薬グループでは、MTPCグループ健康方針※に基づき、従業員・職場の「健康支援」と「働き方改革」を両輪とした健康経営に取り組んでいます。2017年度より、ICTを活用した健康サポートシステム(i2 Healthcare)を導入し、希望する従業員へウェアラブルデバイス(Fitbit)を配布。歩数、消費カロリー、心拍数、睡眠等の身体情報データと、健診結果、各月の有給休暇取得日数、所定外労働時間等の働き方データを健康サポートシステムで可視化し、従業員自らが健康管理と働き方を見直すきっかけ作りを行っています。

また健康保険組合と協同で、ウェアラブルデバイスを用いた従業員向けのウォーキングキャンペーンを実施し、個人の歩数を増やすだけでなく、従業員が歩いた歩数に応じて、会社と健康保険組合から社会貢献団体に寄付する「チャリティーウォーク」も実施しています。2017年度からの3年間で10団体に総額1,264,812円の寄付ができ、従業員が自らの健康増進に繋げるだけでなく、社会問題を考える機会となっています。今後も社会環境の変化にあわせ、従業員自らが健康管理に取り組める体制作りを目指していきます。

※MTPCグループ健康方針：①私たちは、世界の人々の健康に貢献するために自らが健康であるように努めます。②私たちは、一人ひとりが自らの能力を十分に発揮し、いきいきと働くことができる職場づくりを進めます。



i2 Healthcareの全体像（従業員）



電話：080-5776-3670

メール：oohashi.norimitsu@mr.mt-pharma.co.jp
担当者：大橋 至光

企業交流運動会 in KOBE

**スポーツ実施率の向上、健康経営の推進、
企業間のスポーツを通じた交流促進を目的とした
企業参加型のスポーツイベント**

**主催：企業交流運動会 in KOBE 実行委員会
（(株)アシックス、(株)JTB神戸支店、
(株)フェリシモ、明治安田生命保険(相)神戸支社、
(株)ロック・フィールド、神戸商工会議所）**

<https://www.sport-kobe.jp/info/2021kobesportday/>
<https://twitter.com/kobesportday>

企業交流運動会 in KOBEは、(1)スポーツ実施率の向上、(2)健康経営の推進、(3)企業間のスポーツを通じた交流促進 を目的に開催している企業参加型のスポーツイベントです。神戸商工会議所創立140周年記念事業として、2018年9月1日にノエビアスタジアム神戸で第1回大会を開催しました。2018年当初は周年事業での開催予定でしたが、大会継続希望の多数の声を受け、地元の有志企業が「スポーツを実施する機会を継続的に提供すべき」と発起し、2019年以降、地元の有志企業、流通科学大学、神戸商工会議所からなる『実行委員会』形式で継続して開催しています。運営費を参加費で賄う形式とすることで、公的な補助金などを必要としない体制を実現しております。

第3回大会は、コロナ禍であってもスポーツを通じた企業交流・健康を促すため、オンライン形式で開催しました。14社163名が参加し、オンラインで企業同士が競う運動会は全国的にも珍しい試みとなりました。既に第4回大会の準備を進めており、新たな企画も盛り込み、秋頃でのオンライン開催を予定しております。参加企業を拡充させ、神戸らしいイベントとして発展・定着させていきたいと考えております。



電話：078-303-5806 メール：sport@kobe-cci.or.jp
担当者：神戸商工会議所 兵頭

ファイターズ スポーツキャラバン

Sports Communityの実現に向けて

主催：(株)ファイターズ スポーツ&エンターテイメント

<https://www.fighters.co.jp/>

北海道日本ハムファイターズが企業理念である「Sports Community」の実現、野球の普及・振興、及びスポーツを通じた地域活性化を目的として開催。3日間のイベントで、主に金曜日は学校・施設訪問、土曜日・日曜日は未経験者対象のスポーツ体験教室や小中学生対象野球教室、肘検診、バスケットボールやサッカーなどのスポーツ教室、ダンスサイズなどを実施しています。

2013年に開催した<10thシーズンキャラバン>から始まり、2014年から2017年まで開催された<北海道スマイルキャラバン>を経て、2018年に<ファイターズスポーツキャラバン>にリニューアルし、これまで11市町で開催、約7,150人と交流してきました。レバンガ北海道(バスケットボール)や北海道コンサドーレ札幌(サッカー)、北海道バーバリアンズ(ラグビー)北海道十勝スカイアース(サッカー)という北海道内で活動しているスポーツチームの協力を得て、野球だけでなく、様々なスポーツ教室を展開しています。2020年以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止や延期を余儀なくされていますが、開催地のファイターズ後援会や自治体の協力を得ながら、ファイターズベースボールアカデミーコーチやマスコット、ファイターズガールが各イベントを通じてスポーツの楽しさを伝えています。



電話：011-857-7786

メール：community@fighters.co.jp

担当者：石川 拓道

関西で唯一のATP テニスツアー大会 「兵庫ノアチャレンジャー」

**兵庫から世界へ！
グランドスラム を目指すテニス選手の熱き戦いを体感！**

主催：兵庫県テニス協会 ノアインドステージ株式会社

<https://noahis.com/>

兵庫ノアチャレンジャーはグランドスラム大会への登竜門ともいえる関西屈指の国際テニストーナメントです。グランドスラム大会への出場権を得るため、世界を転戦している国内外の選手が熱い戦いを繰り広げます。兵庫県三木市のブルボンビーンズドームで2015年から2019年まで5年連続開催（20年、21年はコロナの為に中止）。2015年大会優勝のジョン・ミルマン選手（AUS）は、2018年全米オープンではベスト8に進出し、現在世界ランキング43位となっています。

一人でも多くのテニスファンに間近で迫力のある試合を観戦してもらえよう、チャレンジャー大会としては異例の入場料を無料とし、全国から約15,000人が来場されました。代わりに災害復興チャリティー箱を設け、2015年には関東・東北豪雨の被災地に向けた義援金として、353,814円を神戸新聞厚生事業団に寄託いたしました。

杉村太蔵さん、AKB48の佐藤朱さんによる無料テニスイベントやかけっこ教室、車いすテニスやブラインドテニス体験会など子供から大人まで楽しめるイベントや県内地域物産展も開催し、来場者のみなさまに地域の魅力を発信しています。このイベントは毎年サンテレビ番組「いいね！テニス」で放送されています。2019年大会でチャレンジツアー初優勝を果たした綿貫陽介選手特集の中で兵庫ノアチャレンジャーについてテレビ朝日番組「GETSPORTS」で放送されました。



電話：080-2427-6231

メール：masaru.suzuki@noahis.com

担当者：鈴木 勝

ionotot

(日本遺産「斎宮」ストレッチセラピー)

天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えた
皇女「斎王」のように凛とした姿勢と心を養う体験。

主催：一般社団法人 明和観光商社

オープンチャット「ionotot」

<https://t.co/5sMlpqQeSh?amp=1>

古代から中世にわたり、天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えた皇女「斎王」の宮殿「斎宮」では、「斎王」や多くの女官たちが雅やかに健康で文化的な暮らしを営んでいたと伝えられている。

「斎宮」が存在した世界唯一の地で体験する、天照大神に仕えた皇女「斎王」のように凛とした姿勢と心を養うストレッチセラピー。ゆるやかな音楽に乗せて、インストラクター(日本ヘルスツーリズム振興機構公式アテンダント・コーディネーター)のクラシックバレエと日本舞踊をもとにした動きの真似をすることで、指先までリフレッシュ。日本遺産「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」を健康づくりの舞台に、定期的に実施を重ねるうち、地元の共感が集まり、徐々に近隣市町・観光客の方も巻き込み、日本遺産が地域に根付いた身近な存在になってきている。

また、非日常的かつ開放的な空間で、呼吸を合わせてひとつのことに取り組むことで、地元の参加者の「地域の賑わい・観光を創出するひとり」という意識醸成にも繋がっている。当活動を含む、歴史的に見てもリフレッシュに適したフィールドを活用したツアーを「めいわととのいメソッド」として提案しており、「健康×観光」が地域に訪れるきっかけとなっている。



電話：0596-67-6850

メール：seta@hana-meiwa.jp

担当者：瀬田 萌

貝塚プロジェクト

クリケットで光輝く未来へ —地域社会の認知度・体験者数UP—

主催：一般社団法人 関西クリケット協会/貝塚市

<https://kansaicricket.com/>

クリケットの団体は、2005年に関西では同志社大学クリケットサークル(創部30年)しか存在せず、本協会は7年かけて学生を中心に2012年に日本クリケット日本クリケット協会関西支部としてスタートした。学生ボランティアとともに大学・高校のクラブを設立・指導。現在は中・高1、大学7、社会人13(日本人3・外国人10)チームとなった。参加者の出身国は日本、パキスタン、スリランカ、インド、ネパール、オーストラリア、ニュージーランドと多国籍、会議は新型コロナ禍ではZoom会議(日本語・英語)で、関西クリケット界のルールや新型コロナの蔓延防止を狙ったニューノーマルな対応を徹底・活動した。貝塚市がクリケットの町の宣言をし、2020年、貝塚市に国際クリケットフィールドが完成。将来オリンピック種目となる可能性もあるクリケットで、関西にその輪を広げ、関西からオリンピック選手を、クリケットで豊かな未来を育てたい。



電話：090-1719-5592

メール：yoshinaka.yasuko1123@kuas.ac.jp

担当者：吉中 康子

猿島カヤック ガイドツアー

無人島周辺資源の活用

主催：株式会社トライアングル

<https://www.tryangle-web.com/>

当社は神奈川県横須賀市の無人島・猿島への航路を運航している企業です。猿島は東京湾に浮かぶ唯一の自然島であり、その豊かな自然やペリーの来航以降要塞として活用された歴史が特徴です。島内においてその様子や歴史を詳しく、分かりやすく解説するガイドツアーも当社は開催しております。しかし、安全が確保できない等の理由により、猿島のすべてを堪能することが難しい現状があります。こうした背景より、猿島を外側、すなわち海から楽しむイベントとして、猿島カヤックガイドツアーが生まれました。

このイベントでは2人乗りのカヤックを使い、本田大三郎様(1964年東京オリンピック日本代表、カヌー主将)のご指導のもと約1時間で猿島を一周します。通常島内でガイドしているスタッフが同行し、そのノウハウを活かして外側からみた猿島、普段見ることのできない猿島をご案内します。カヤックと無人島という観光資源を組み合わせたイベントはアフターコロナの時代において地元の方、観光客の方、あるいは老若男女問わずお楽しみいただけるものです。今後は日本全国、インバウンドの方にもお越しいただけるような、より大きい規模での開催を目指していきたい。



電話：046-825-7144

メール：hiroaki.fujino@tryangle-web.co.jp

担当者：藤野 浩章

電話 : 0761-47-1214 メール : wellness@sc-dynamic.com
担当者 : 中井 詔子

さが未来スポーツ応援隊

佐賀県オールトヨタ杯みらスポ学童野球大会 みらスポラグビー教室

主催：佐賀県オールトヨタ

(西九州トヨタ自動車(株)、佐賀トヨペット(株)、
トヨタカローラ佐賀(株)、ネットトヨタ佐賀(株)、
(株)トヨタレンタリース佐賀、トヨタモビリティパーツ
(株)九州北部統括支社)

<https://saga-mirasupo.jp/>

佐賀県内のトヨタ関係会社計6社からなる佐賀県オールトヨタでは、佐賀県と2018年に包括連携協定を締結し、7つの項目につき共に取り組んでいくことを約束いたしました。その中の「スポーツ振興」として、佐賀県で2024年に開催される『国民スポーツ大会』を控え、2019年に『さが未来スポーツ応援隊（通称：みらスポ）プロジェクト』を発足しました。

本プロジェクトでは、地元ゆかりのアスリート育成や、県民が何かしらの形でスポーツに関われるスポーツ文化の視野拡大を目指し、スポーツにまつわるイベント等、様々な取り組みを通じ、地域貢献活動を展開しております。トヨタ自動車所属アスリートによるスポーツ教室、指導者向け講演会等のイベント開催。

特に昨年からはイベントのオンライン配信や、ホームページやSNS上でのスポーツフォトコンテストの開催、また、ワンポイントレッスン動画を配信する等、コロナ禍での取り組みにも注力しております。2024年に向けて官民一体となり中長期的に活動を推進し、佐賀を盛り上げて参ります。



電話：090-6723-9397

メール：yuki_hisamatsu@toyotaconiq.co.jp

担当者：トヨタ

コニック・プロ株式会社 久松 雄樹

2021 Nagoya Vertical Running 中部電力MIRAI TOWER スカイラン

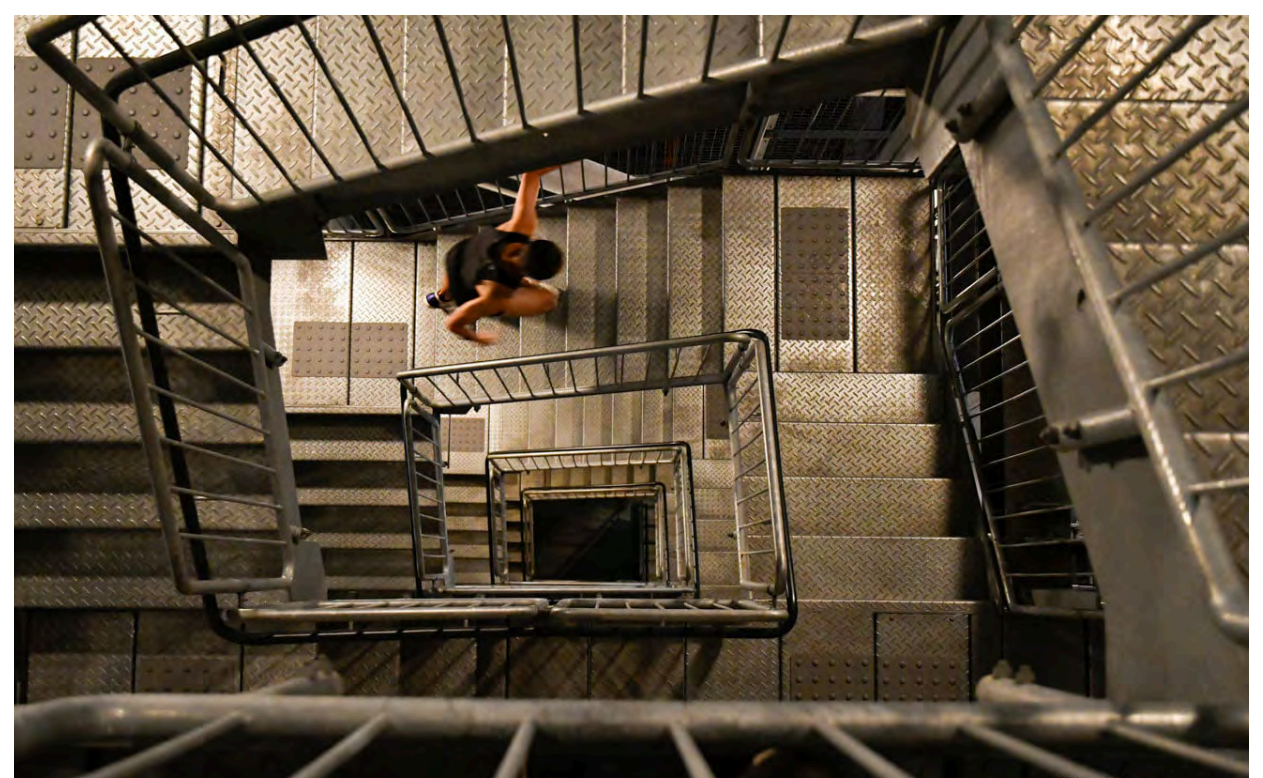
都市部にある超高層ビルやタワーの階段資産を活用しての、
階段駆け上がりタイムトライアルレース
駆けあがるスリル! 駆け上がった絶景!

主催：株式会社 ミーティング

<https://miraitower-skyrun.jp/>

2021年9月11日に名古屋市中区栄にある高さ(180m)の日本で最初に完成した集約電波塔である「中部電力 MIRAI TOWER(旧名古屋テレビ塔)」の屋外階段を駆け上がる『中部電力 MIRAI TOWER スカイラン』というタイムトライアルレースを開催しました。また、本イベントを通じて2つのSDG'sプロジェクトを実施しました。①来場者に自転車を漕いで電力を蓄電し、電力の貴重性を体感していただきました。②燃料電池自動車「MIRAI」からの電源供給のみでタワー全塔を照らし、脱炭素化社会の実現に向けてのメッセージを発信しました。

階段垂直マラソン(バーティカルランニング)は、都市部にある、超高層ビルやタワーの非常階段を一気に駆けあがるランニング系新種目です。毎年、世界を代表する都市(ニューヨーク、パリ、ロンドン、ドバイ、香港、上海 etc)などのランドマークビルやタワーを会場にした、世界サーキット戦も行われており、年々大会数も参加者人数も増えてきているスポーツです。都市部での開催が多く、観光を兼ねて本大会に参加する方も多く、エリア周辺の活性化にも繋がっています。現在 国内では、あべのハルカス(300m)@大阪、ミッドランドスクエア(285m)@名古屋などでも開催しており、現在 東京大会開催に向けて協議を進めています。



電話：080-2514-8178

メール：okuno@meeting.co.jp

担当者：奥野 晋一郎

新しい生活様式に対応した スポーツ合宿セミナー

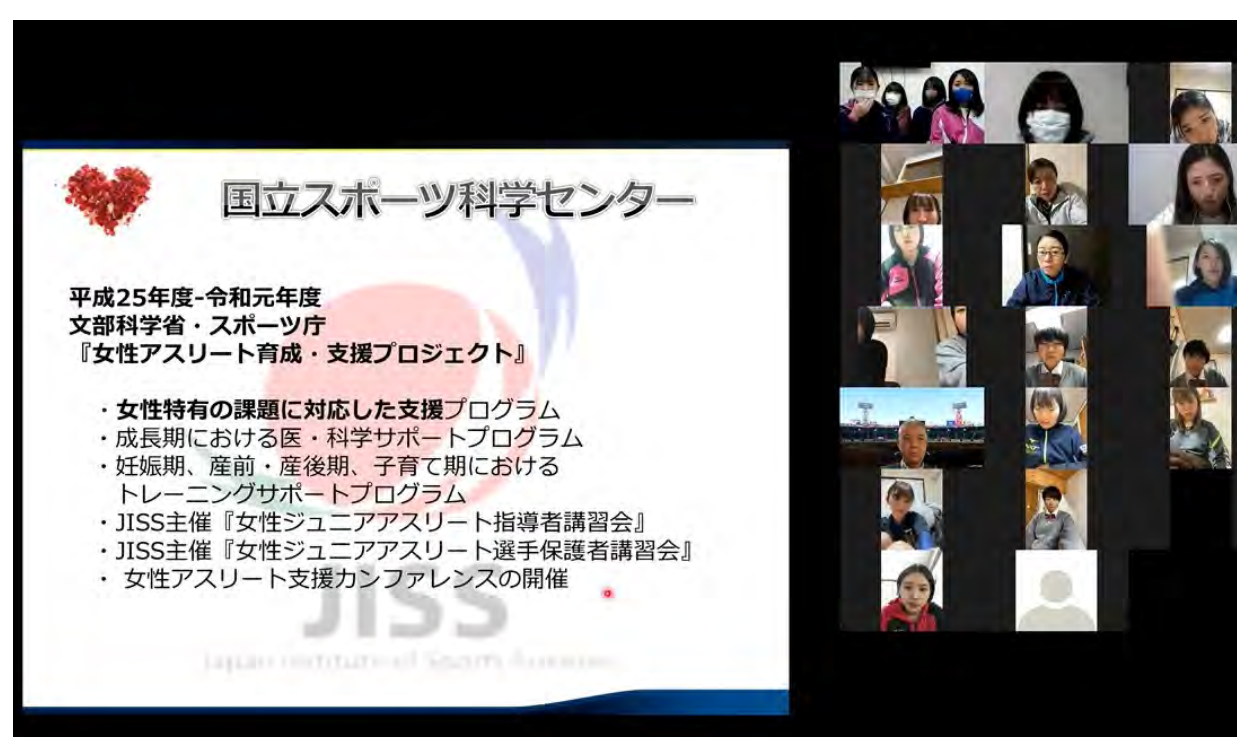
主催：一般財団法人どんぐり財団

<http://kh-donguri.or.jp>

当方が拠点を構える広島県北広島町は体育館を有する運動公園が4施設あり、その近隣には宿泊施設も併設されている。これらを活かし、スポーツを目的とする来訪者の増加を図り、新型コロナウイルスに対応する取り組みとして合宿時に新しい生活様式に基づいたWebミーティングを導入した新たなスポーツ合宿プランを作成した。

今回開発したWebミーティングは当施設で参加した対象者世界中どこからでも話を聞ける環境を整え、全国からミーティングだけに参加することも可能な仕組みである。講師に支払う交通費や謝金の費用を抑えつつ、専門性の高い充実した講義を受講できるのがこのプランの特徴である。今回は元テレビ朝日アナウンサー宮嶋泰子氏とスポーツDrの高尾美穂氏に協力を依頼した。このプランは双方向型ミーティングであるため、参加者の反応を確認しながら直接質問に答えることができるのも特徴であるため参加者からは大変好評を得た。

今後は、合宿誘致の新たな手法として活用しながら、合宿に参加していない一般視聴者向けのセミナーイベントとしての実施やスポーツ施設のPR手段としても活用が期待できる。今後は講師や講義内容が選べるようなプランバリエーションの構築も進めていく。



電話：0826-84-1414

メール：s-sugimoto@toyohira-wing.jp

担当者：杉本 聡一郎

FDG

(フィールドディスカバリーゲーム)

スマホアプリと地域の歴史・文化・自然遺産を活用した
アウトドア・ナビゲーション・eスポーツ「FDG」

主催：一般社団法人フィールドディスカバリー協会

<https://fielddiscovery.or.jp>

フィールドディスカバリーとは、専用スマホアプリと歴史・文化・自然遺産を活用した新時代のアウトドア・ナビゲーション・eスポーツです。スマホを片手にフィールドに設定されたスポットを巡り、位置情報を利用してゲームを楽しむことができます。

野外に出て身体を動かすことは、五感を通して様々な面で心身に対して刺激を与えてくれるため、健康寿命の延伸につながります。更に、体を動かしながら歴史や地理を学ぶことで脳が活性化、覚えた事柄は身体知として記憶に深く刻まれます。自分の生まれた地域の歴史を知れば、郷土への誇りや愛着が育まれ、持続的な地域活性化に繋がります。身体と頭を同時に使うフィールドディスカバリーは、幼年期の情緒教育、青少年の健康増進にも、高齢者の認知予防にも最適です。

スポーツイベント「FDG（フィールドディスカバリーゲーム）」は、大会当日配られる地図とスマホアプリを使い、走ってスポットを巡り、制限時間内に得られたスコアを競うことで、フィールドディスカバリーを「競技」として楽しむことができるスポーツイベントです。2021年にはFDG愛知ツアーとして、全7戦の大会を開催。2022年以降は、東海地方、将来的には全国に展開する予定です。



電話：0561-78-1005 メール：info@fielddiscovery.or.jp

担当者：竹内 鉄平

北谷津ジュニア ゴルフミーティング

ジュニア育成の取り組み

主催：株式会社山池 北谷津ゴルフガーデン

<http://kitayatsugolf.jp>

「楽しくなければゴルフじゃない」の考えの基にジュニア育成に取り組んでいます。1994年3月から現在に至るまで毎月第1日曜日に開催し2021年9月で318回を終了したところです。参加人数は8,000人、ボランティアは1,200人。卒業生の中には、ツアー優勝者の池田勇太プロの他、市原弘大プロ、木下裕太プロ、葭葉ルミプロ、稲見萌寧プロなどがいます。1996年当時世界NO.1のニック・ファルド選手が、毎年秋に袖ヶ浦CC袖ヶ浦コースで開催のブリヂストンオープンゴルフトーナメントで北谷津のジュニアにレッスンをしてくれました(参加人数30名)。北谷津のジュニアゴルフ育成の考え方とジャックバニーが融合して生まれた大会「マイ・ファーストティ」は2015年から2021年まで開催。篠崎紀夫プロや三上幸一郎プロなどのコーチが指導。参加人数は800人。青少年ゴルフミーティングは、千葉若潮ロータリークラブが主催し北谷津ゴルフガーデンが協力して2009年から毎年開催(コロナ禍で2020年、21年中止)し、地元の小中学生50名を対象に実施。これまで参加者は約550名、ボランティアは約300名。他に、地域振興やコミュニティとして、視覚障害者ゴルファーの受け入れ(参加人数1,000人)、北谷津町内会と千葉市清掃工場との親睦ゴルフ大会(参加人数1,600人)、千葉市若葉区ゴルフ大会(参加人数1,900人)を開催しております。



電話：043-228-1156 メール：info@kitayatsugolf.com
担当者：土屋 泰人

第10回記念 東尋坊愛のマラニック大会

『さあ～走り出そう あの天空の下へ』

主催：東尋坊愛のマラニック実行委員会
共催：東尋坊観光協会／DMOさかい観光局

<https://www.yypark.com>

過疎地域と低迷する観光地を活性化させる為に、地元の神社に眠っている古文書や、地域の伝承料理・人間愛を絡ませたスポーツツーリズムを企画しました。スローな刻の流れの中で人々との会話を楽しみ郷土料理を味わえるスポーツ、マラソンとピクニックを合わせた『マラニック大会』を開催しました。更に、国定公園奇勝・東尋坊の由来となった僧侶・東尋坊とあや姫、真柄覚念三人の若者が恋の炎を燃やした事柄をミックスして東尋坊愛のマラニック大会を2011年に第1回大会を開催しました。

そして、youthubeやインターネットを通して大会を広め、日本国内を始め海外からも参加者があり過疎地域とメイン観光地に新たな起爆剤を起こしました。現在ではリピータが増え、『走る旅は記憶に残り心に宿す』素敵な大会と選手間のクチコミにもなっています。

コロナ禍で大会が開催されない時にもリモートでのオンラインマラニックで多数の参加者があり、参加者同士や大会スタッフともメールやフェイスブック等に投稿写真や投稿文を頂き共有感が高まりました。東尋坊愛のマラニック大会はこのような愛溢れる大会です。



電話：090-8267-1158 メール：kf.nishide@gmail.com
担当者：西出 憲榮

みんな笑顔の すなびスポーツ

スポーツツーリズムによる地域活性化

主催：特定非営利活動法人 NPO砂浜美術館

<https://sunabi-sports.com>

すなびスポーツは、高知県黒潮町にある建物のない砂浜美術館（愛称：すなび）が運営するスポーツツーリズム事業です。砂浜に隣接する豊かな自然に囲まれたスポーツ施設を活用し、黒潮町へ来て下さる人々と地域を結ぶ橋渡しとなることで、地域に「人・もの・おかね」の新しい流れをつくり、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域の活性化を目的に活動してきました。

2021年度から本格的に事業をスタートし、主に小学生から大学生の合宿・大会の受入れを行っています。2019年度は、延べ11,773泊、地域の経済波及効果は1億3,531万円まで成長しました。受入窓口を一元化することで、飲食・体験・宿泊など地域のネットワークを活用し、地域内の波及効果を高め、地域経済への効果を可視化することで、スポーツツーリズムによる可能性を広げてきました。

また、公園施設に隣接する長さ4kmの砂浜（砂浜美術館）もトレーニングのフィールドとして活用しています。官民協働で取り組んできた実績が評価され、2017年には高知県内初の人工芝グラウンドが完成。ツーリズムを通じて、地域の競技者のスポーツ機会や技術向上にもつながっています。



電話：0880-43-4915 メール：nitari@sunabi.com
担当者：山崎 悠

「ダンス」で楽しく健康に！

ダンスでコロナ禍のシニア世代の運動不足解消

主催：一般社団法人ダンス教育振興連盟JDAC

<https://www.jdac.jp/>

弊連盟は厚生労働省、スポーツ庁の後援の下、日本全国でダンス指導者育成の研修会を開催し、ダンス指導者の資格を発行しています。既に述べ3万人に受講いただいている指導プログラムのノウハウを生かし、大阪市介護予防事業の「なにわ元気塾」や大阪市各区の老人福祉センターのシニア向け講座などで「認知症予防」のため、またコロナ禍の「運動不足解消」「コミュニティづくり」など「健康二次被害」防止のためのシニア向け健康ダンス教室を各地で実施。

ダンスは「能力に応じて運動レベルを自在に変えることが可能。座ったままでもOK!」「手足をバラバラに動かすことで脳が活性化」「音楽と共に動くので自然と楽しく継続できる、新たな生きがい・やりがい」「一定のリズムで動くことで有酸素運動となり心肺機能の向上」等の理由から非常にシニア向けの運動として効果的とエビデンスがあります。

参加者からは、「ダンスはしたことがなかったけど、思ったよりも簡単で楽しかった」「これからも毎日の運動としてダンスを続けます」等の前向きな声を多数いただきました。今後も【「ダンス」で世の中を元気に】を目標に活動していきます。



電話：06-6934-4199

メール：dance@jdac.jp

担当者：鴻野 克之

松江サンセットラン!

**「観光×スポーツ」
いま、ここ、だけの夕焼けを。あなたと味わうサンセットラン。**

主催：サンセットラン!実行委員会!/長楽クリエイト

<https://www.choraku.co.jp/blog/?p=1073>

サンセットランとは、「観光×スポーツ」の視点から構築した事業です。観光地から観光地へ自動車やバスなどの乗り物で移動するのではなく、ランニングやジョギングで移動する観光ツアーです。アテンンドとして健康運動指導士の資格を有するトレーナーと地域に詳しい地域おこし協力隊を配置しました。ルートとしては、国宝にも指定されている「松江城」の裏側からスタート。一般的な観光客のルートとは違い、バスの送迎でも直前まで城の外観が目に入らないルートでお送りし、通常の観光では味わえない新鮮さを演出しました。次に松江歴史館「喫茶きはる」に移動。

本事業特別仕様で、ベテラン職員が作る宍道湖をモチーフにしたお菓子とお抹茶の提供。その後、宍道湖へ向かう途中で地元の人に愛されている「きたがき」のコロッケで塩分補給をし、宍道湖大橋を渡りながら宍道湖の景色を眺め、夕陽スポットへ到着。そこにある「サンセットカフェ」にて、本事業のために開発したランナー向けドリンクを飲みながら夕陽が沈むのを鑑賞します。ランニングやジョギングという方法を活用することで、健康的な観光を提供することができました。路地裏の木漏れ日や宍道湖の絶景をゆっくりと味わうこと、地元でも知る人ぞ知る隠れた名店の一品を案内できるということも、参加者がノンストップで行うマラソンイベント等とは違う、本イベントの魅力の一つです。



メール：n.shiotani.s@gmail.com

担当者：塩谷 夏輝